

三条教区通信

第 77 号

発行日 2013年11月12日
発行者 三条教務所長 鷲尾幸雄
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

忘れても

慈悲に照らされ

南無阿弥陀仏

浅原才市 1850~1932年

Though I may forget, I am always illuminated
by the Great Compassion of Namu Amida
Butsu.

Asahara Saichi (1850-1932)

三条教区災害対策委員会のお知らせ

集中豪雨・台風により被害を受けられた方々に
心からお見舞いを申し上げます。

被害を受けられた御寺院・御門徒についてお知らせいた
だきたく、被害状況報告書を8月末の全寺院発送にてお送
りしました。まだお知らせいただいていないようでしたら、お
手数をおかけし、恐縮ですが、お早めにお知らせくださいま
すようお願いいたします。

皆様にご協力いただいております三条教区独自の東日
本大震災救援金は、2013年11月1日現在、総額
13,870,589円となりました。なお、三条別院彼岸会に開催さ
れたフォークジャンボリーにおいて5,519円、チャリティバザ
ーにおいて12,500円の寄付を頂きました。ご協力頂きまし
た方々に御礼を申し上げます。

これまでの救援金寄託状況及び復興支援活動資金の使
用状況は以下のとおりです。

2,000,000円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日

1,170,237円 東日本大震災復興支援活動資金

ご報告いたしますとともに、さらなるご協力をお願い申し
上げます。

御遠忌実行委員会のお知らせ

10月18日に開催された三条教区宗祖親鸞聖人七百五
十回御遠忌実行委員会において、小林光紀前委員長(第
12組浄照寺)の辞職に伴う委員長の互選が行われました。
実行委員長並びに副委員長は以下のとおりです。

委員長 楠 雅丸委員(教区会議長 第18組西源寺)
副委員長 青木 仁委員(教区副議長 第20組圓周寺)
副委員長 土田 隆委員(教区門徒会長 第14組了元寺)



別院本堂を出発する御本尊動座列

11月8日午後、三条別院お取り越し報恩講の後、教区
御遠忌特別記念事業として行われる別院整備事業に伴う
御本尊動座式が執行されました。

この後、明年2014年10月まで別院本堂建物並びに仏
具の御修復が行われる間、御本尊は、同朋会館2階の仮本
堂に安置され、11月の報恩講前には、御修復の完了する
本堂への還座式が執り行われます。

研修会のご案内

■ 秋季声明講習会

開催案内既送

- ◆日時 2013年11月12日(火)10:00~16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 藤澤善夫氏(堂衆)
- ◆内容 葬儀式について
- ◆対象 僧侶の方
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 教区坊守研修会

開催案内既送

- ◆日時 2013年11月13日(水)10:00~15:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 阿満利麿氏(明治学院大学名誉教授)
- ◆講題 「念仏に自信がありますか」

- ◆対象 前坊守・坊守・若坊守・准坊守
- ◆参加費 2,000円(昼食代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 若坊守・准坊守の集い

開催案内同封

- ◆日時 2013年11月30日(土)12:00~15:45
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆内容 お内仏のお給仕・茶話会
- ◆対象 若坊守・准坊守
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 第33回法灯の集い

開催案内既送

- ◆日時 2013年12月2日(月)~3日(火)
- ◆会場 村杉温泉 長生館
- ◆講師 廣陵 兼純氏(能登教区第6組満覺寺)
- ◆内容 節談説教
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)
- ◆主催 三条教区推進員連絡協議会

■ 秋安居

開催案内同封

- ◆日時 2013年12月5日(木)~6日(金)
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 延塚知道氏
(本山安居本講師・大谷大学教授)
- ◆講題 『教行信証』の構造
- ◆テキスト 2013年度安居講義
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)

※秋安居事前学習会の開催について

- 日時 2013年11月20日(水)15時から
- 場所 教区同朋会館
- 内容 安居講本輪読を中心に学習
- 持ち物 真宗聖典、安居講本(2013年)

■ 歴史講座報告

靖国問題研修会部門 楠 無量(第18組西源寺)

去る10月4日、講師に元教員の高橋健男氏を迎え、靖国研修会部門歴史講座「満州開拓、時代背景とその実態」が教区同朋会館にて催されました。



講義では主に、①満州事変の導火線となる旧南蒲原中之島村出身の中村震太郎殺害事件、②満州開拓と宗教教団の活動、③満州開拓移民はどの様に送出されたかについてお話をしました。当時の新聞記事等、豊富な資料と丁寧なレジュメをもとに、開拓移民の苦難の歴史を教えてくださいました。そして国策に積極的に宗教教団が協力していたこ

とも時間をかけて説明してくださいました。その時に、自坊の梵鐘の供出時のものと思われる写真(裏に昭和17年とメモされ、先々代住職が、降ろした梵鐘の前で誇らしげな顔をしているもの)を門徒さんの家で見せて頂いたのを思い出し、複雑な感情になりました。

質疑応答では、教育の現場で近現代史に割く時間が無いのは、教育の場に何らかの圧力があるのではという旨の質問がありましたが、講師の経験上ではそういうことではなく、単に授業のカリキュラムが莫大で、そこまでの時間が取れないのが現状で、悩ましいことだと言われていました。

先の震災での福島原発事故と満州開拓とが、共に国策という名の下、故郷を奪ってしまったという事において同一であると言われたこと、また、戦争の歴史を研究し語り残していくのは自身のライフワークであるとの言葉が、強く印象に残りました。

靖国問題研修会部門 北島栄誠(第11組長福寺)

去る10月4日、教区同朋会館にて、靖国問題研修会歴史講座が、講師に高橋健男氏(満州開拓史研究者)をお迎えし、「満州開拓、時代背景とその実態」の講義をいただき開催されました。

皆さんも満州から戻られたという経験談を、お年寄りから聞いたことがありますか?

このたびは、改めて戦争を「知っているつもり」で終わったことにしている私がいることに気付かせていただき、人として忘れてはいけないもの、思い出さなければいけないものを痛感させられました。「戦後はまだ終わってない」ということなのです。



講義の終わりには、「この満州開拓の話は、『原発』にまつわる問題と同じだと思うんです」とご講師がおっしゃられ、震災後の報道等にある「国策」という言葉の曖昧さ、怖さを指摘されておられたことが印象的でした。

確かに「国策」ということになると響きが遠くなるというか、「誰が?」というわけではなく「国が・・・」、ひいては「国民が・・・」ということになる。となるとますます主体が曖昧になる。漠然と「お国のため・・・」と進んでいった戦時中と何処か匂いが同じく感じられるのは私だけでしょか。

『国のため』ではなく、『私は、本当はどうしたいのか?』『私は何をすべきなのか?』をしっかり見定める視線を持って!!と問うていただいたのではないでしょか。

またご講師は、近代史教育の重要性にも触れられ、近い歴史を軽んじていることを危惧され、教育の重要性についても考えさせられた歴史講座でありました。

懇親会では、ご講師の満州開拓に関する思いや研究の動機を伺うことができ、「やらなければならないご縁をいただき・・・」という、力強くも深いご縁、また講師の人柄を感じる研修会でありました。

女性研修会(長岡地区)報告

スタッフ学習会・長岡地区女性研修会
女性研修会部門 榎並葉子(第10組善勝寺)

私たちは、地区研修会当日の座談会の進行が円滑に行えるよう、会議を兼ねて、事前に講師である里村専精先生に講義をいただき、質問を交えながらスタッフ学習会を実施しています。今回は10月1日の長岡地区女性研修会に向けて、8月30日に実施しました。その後の地区研修会の座談会においては、スタッフ学習会の内容と当日の先生のご講義とを結びつかせて、参加した皆さんとより深く聞法ができるよう努めています。



なかなか上手くいかない現状もありますが、座談会を終えた参加者の方から「内容は難しいが参加できて良かった」「難しいが何となく共有できた面もあり、続きのお話を聞いてみたくなった」という声をいただいています。

これまでの研修会を受けた今後の課題として、初めての方や、一般の方が興味をもって聞法できるような研修会のあり方、進行の仕方を思索してまいりたいと思います。

女性研修会部門 鷲尾信子(第14組浄照寺)

10月1日に、第13組宮原善行寺様を会場にお借りして、2013年度長岡地区女性研修会を行いました。教区の坊守様方のお声掛けで、25名の参加をいただきました。里村専精氏(第20組最福寺前住職)を講師にお迎えして、「韋提希に学ぶ一思いを超えた現実と観無量寿経の救い」を講題にお話いただきました。



現代に生きる私たち女性が抱える迷いや悩みを、どのよ

うに自分自身は受けとめてゆけば良いのか…。期待する気持ちで講義を受けました。

先生は『観無量寿経』をどのように読むかは、韋提希をどう受けとめるかに依ると話され始めました。『観無量寿経』は、何不自由なく生活していた国の大夫人でありながら、我が子の逆害によって宮廷の奥深くに閉じ込められてしまった韋提希の物語であり、その韋提希を実業の凡夫として、善導大師の読み解きを通して語られました。

本当の仏教は一切衆生を救う他力本願であり、凡夫を救う教えである。『観無量寿経』では、実業の凡夫であるどこにでもいる人間として、韋提希は救われていったのだということです。

韋提希の生きた時代背景を熱を込めて語られ、私たちも時を越えた思いがいたしました。

教務所からのお知らせ

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

○講師 10/27～12/7 犬飼祐三子氏(愛知県正林寺)
(変更になる場合があります)

○放送局 BSN新潟放送

*新潟県全域をカバー

- ・小出エリア 1026KHz
- ・中越エリア 1062KHz
- ・下越エリア 1116KHz
- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日午前5:00～5:10

○提供 吉運堂様

◎教区行事予定表

2013年	
11/1(金) 13:00	金澤翔子氏席上揮毫 金澤泰子氏講演会
11/5(火) 12:30	～8日 三条別院お取り越し報恩講 真宗学院別院報恩講参拝
11/8(金)	三条別院御本尊動座式
11/9(土) 14:00	真宗学院
11/12(火) 10:00	秋季声明講習会
11/13(水) 9:30 12:00	教区坊守研修会 推連協会議
11/14(木) 14:00	教化センター 青少年3部門連絡会議
11/16(土) 14:00	真宗学院
11/19(火) 14:00	企画委員会
11/20(水) 14:00 15:00	推進員教習部門会議 秋安居事前学習会・如来会
11/21(木) 14:00 15:00	教化センター (遠)広報部会
11/28(木) 14:00	教化センター
11/30(土) 8:30	若坊守・准坊守の集い

12/2(月) 14:00	～3日 法灯の集い 坊守役員会
12/5(木) 10:00	～6日 秋安居
12/7(土) 14:00	真宗学院
12/8(日) 8:30	～9日 園長・設置者研修会
12/14(土) 14:00	真宗学院
12/16(月)	～1/16 (遠) 会館玄関・吹き抜け工事
12/18(水) 14:00	企画委員会
12/24(土) 14:00	真宗学院
12/28(土)	～1/5(日) 教務所事務休暇
2014年	
1/21(火) 14:00	企画委員会
2/19(水) 14:00	企画委員会
3/1(土) 13:00	真宗学院特別講義3
3/4(火) 13:30	「差別と真宗」共学研修会
3/7(金) 14:00	同朋の会教導連絡協議会総会
3/10(月)	教区女性研修会
3/17(月) 14:00	企画委員会
4/5(土)	保育新任者研修会
4/15(火) 14:00	企画委員会
4/18(金) 13:30	～19日(土) 教学研究会
4/27(日)	教区同朋大会
5/13(火) 14:00	企画委員会

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

新潟親鸞学会からのお知らせ

待望の書刊行！

新潟県の郷土史を牽引してこられた故 田子了祐・大場厚順両先生の著作が、あい次いで出版されました。お二人とも当会設立に深く関わられ、特に副会長の田子先生には特別展「親鸞となむの大地」の開催に道をつけていただきました。両先生のご研究がなければ、今年の特別展も不可能だったかもしれません。特別展を拝観する前に両書を見ておけば、展覧会も10倍興味深くなるとういものです。ぜひお求めください。

①田子了祐著『越後における真宗の展開と蒲原平野』

(A5判 416頁 定価 5,000円＋税 発行所: 考古堂書店)

先生は生前に各市町村史などについて多数論文を執筆されておられたので、その内容をまとめて欲しいとの声が多く、このたび先生の友人・知人らが、先生の四十年にわたるライフワークを完結させ出版した論集です。蒲原平野の開発と真宗の



伝播の様子を現代に伝える貴重な資料として、ぜひ一読しておきたい好著です。

主な内容

- 一、蒲原平野の開発
- 真宗寺院の進出
- 村松の真宗寺院について
- 東山通りの真宗寺院(一)
- 味方村の寺々
- 真宗寺院の進出
- 浄土真宗の伝播と近世村落の成立について
- 越後の川中島ほか
- 二、研究と教育のはざま
- 流浪と定着
- 出会いと再開
- 三、多様な真宗史研究
- 法宝物紹介
- 親鸞の七不思議とその背景
- [付]田子了祐略歴と執筆目録

②大場厚順著『越後の親鸞—史跡と伝説の旅—(新装版)』

(A5判 117頁 税定価 1,500円 発行所: 新潟日報事業社)

越後の親鸞聖人のご旧跡を巡拝するうえで、適切なガイドブックやリーフレットはないか、と「親鸞となむの大地」実行委員会が県内外を渉猟した結果、大場厚順先生の『越後の親鸞—史跡と伝説の旅—』が最も好評でした。ただ、既刊本は写真が古く、市町村合併などで住所・地名などにもかなりの変更があるため、文脈はそのままに、それらのデータを全面改訂し、新装版としてこのたび刊行されました。

日本仏教最大の教団である浄土真宗。その宗祖親鸞聖人は朝廷の念仏弾圧により越後に配流となられたのでした。聖人の教えはどのようにして人々に浸透していったのでしょうか。越後に残る宗祖ゆかりの史跡をたどり、親鸞聖人がこの地で過ごした日々を迫るうえで、本書は一押しといえるでしょう。



【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830
Eメール choganji@nifty.com
新潟親鸞学会デスク(ブログ):
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏教有志会ボランティア

三条仏教青年有志会は教区災害対策委員会と連携し、東日本大震災で被災された方々の支援活動を行っています。活動に参加いただける方はご連絡ください。
連絡係 藤井信彰(14組長楽寺) shinsho@nct9.ne.jp